

会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、一般社団法人佐賀青年会議所の活動の
2 みならず、各会員の仕事や生活にもさまざまな影響を及ぼしています。ニューノーマルと
3 いわれるライフスタイルの変化は、テレワーク、新しいデジタルツールの活用を急速に発
4 展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみならず、現役
5 会員の資質向上を目指し、他団体と協働し、時代の変化に合わせた事業の形を創り出す必
6 要があります。

7 まずは、青年会議所活動の参加を促すために個人の社会貢献活動の見える化を実現する
8 アクトコインを使用することで、会員のモチベーションに繋がります。そして、アクトコイ
9 ンの内外の利用者を増やし、より有効性を高めるために、オンラインなどを積極的に活用
10 し、佐賀青年会議所のみに留まらず、佐賀の他団体、他企業と連携した地域活動を行うこ
11 とで、地域活動する人の増加や周知等の社会的活動が広がるメリットとなることを示しま
12 す。また、このアクトコイン等を使用した事業を次年度以降も継続して行うことができる
13 事業とするために、マニュアルの作成、情報の共有を行うことで、特定の会員のみが理解
14 しているのではなく、次年度委員会、他の委員会も事業にアクトコインを紐付けすること
15 ができる仕組みづくりを目指します。

16 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦と魅力を高めるために、
17 時代に合わせた人財づくりを行うとともに、取り組みを継続し、佐賀の地域振興を担う一
18 翼として協働することで、新しい時代を切り拓いていきます。

19 20 21 [事業計画]

- 22 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 23 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 24 3. 厄入厄払の企画・運営（1月）
- 25 4. 例会の企画・運営（4月、11月）
- 26 5. シニア交流事業の企画・運営（6月）
- 27 6. サマーコンファレンス参加者への支援（7月）
- 28 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）